

通信ソサイエティ 特別講演及び表彰式

日時：2023年9月13日（水）14:30～16:45

開催：名古屋大学（東山キャンパス）南棟2階 S2X

本セッションでは、Yahoo! JAPAN研究所 五味秀仁 様の特別講演「Yahoo! JAPANのパスワードレス認証の普及に向けた取り組み」と、通信ソサイエティの功労顕彰状・活動功労賞・論文賞を贈呈する表彰式を行う。

| 一般社団法人 電子情報通信学会 通信ソサイエティ特別講演及び表彰式 | | IEICE Communications Society |
|--------------------------------------|--|---------------------------------|
| 特別講演及び表彰式 次第 | | |
| 14:30 | 開会 | 橋 拓至 総務幹事 |
| 14:30 | ソサイエティ会長挨拶 | 笠原 正治 ソサイエティ会長 |
| [通信ソサイエティ論文賞表彰式] | | |
| 14:35 | 選定経緯の説明および総評 | 太郎丸 眞 ソサイエティ編集長 |
| 14:40 | 通信ソサイエティ論文賞贈呈 | 笠原 正治 ソサイエティ会長 |
| [ソサイエティ功労顕彰状&活動功労賞表彰式] | | |
| 14:55 | ソサイエティ功労顕彰状贈呈 | 笠原 正治 ソサイエティ会長 |
| 15:05 | ソサイエティ活動功労賞贈呈 | 笠原 正治 ソサイエティ会長 |
| 15:35 | 受賞者代表挨拶 | 受賞者代表 |
| <休憩 10分> | | |
| 15:50 | 特別講演 「Yahoo! JAPANのパスワードレス認証の 普及に向けた取り組み」 講師 五味 秀仁 様 (ヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN研究所 上席研究員) | |
| 16:45 | 次期ソサイエティ会長挨拶 | 中尾 彰宏 次期ソサイエティ 会長 |
| 16:45 | 閉会 | 橋 拓至 総務幹事 |

講演者紹介



五味 秀仁(ごみ ひでひと)

ヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN研究所 上席研究員
博士(情報学) (京都大学)

略歴

1996年 日本電気株式会社 C&C研究所 配属
2002年 日本電気株式会社
インターネットシステム研究所 主任
2007年 ヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN研究所 配属
2012年 ヤフー株式会社 Yahoo! JAPAN研究所
上席研究員

インターネットにおいて個人向けサービスが増えるにつれ、「認証」が重要になってきました。認証付きサービスを利用者が安心して利用するためにはサービス事業者は適切な安全性を提供する必要がありますが、厳格にしすぎると使い勝手が悪くなってしまい進んで使ってもらえなくなるというトレードオフが存在します。ヤフーでは、安全性と利便性のバランスの取れた認証を目指して研究・開発・標準化を進め、2018年にパスワードを使わない認証(パスワードレス認証)を導入しました。本講演では、パスワードレスの世界に向けたヤフーの取り組みについてお話いたします。

パスワードを使った個人認証方法は、1960年代にメインフレーム向けに考案されて以来広く利用されていますが、学术界および産業界の両方においてさまざま課題が指摘されてきました。そして、これらの課題を解決するべく多くの認証方法やそれらの組み合わせが提案されてきました。近年では、リスト型攻撃等の新たな脅威による不正アクセスが問題となっています。本講演では認証に関連する動向と課題について説明いたします。

上記のような認証動向の中2012年には、上述のパスワードの問題を解決するべく業界団体FIDO (Fast Identity Online)アライアンスが設立され、安全性と利便性の両方を改善する認証技術の標準化を推進してきました。FIDOアライアンスが策定した認証技術では公開鍵暗号技術を利用し、利用者の手元にある認証デバイス・機能(認証器)によって利用者の本人性を確認した情報をリモートにある認証サーバに共有するという方式(FIDO認証)を採用しています。この方式はパスワードレス認証を実現する標準技術として普及しつつあります。本講演では、上記FIDO認証の技術、および、標準化の最新動向について説明いたします。

ヤフーはFIDOアライアンスに早い段階から参画し、世界各国の企業とともにFIDO認証の標準化を進めてまいりました。上記FIDOアライアンスの最新仕様FIDO2の策定に貢献すると同時に、利用者数最大(2021年、ニールセン調べ)のYahoo! JAPANサービスにAndroid向け(2018年)とiOS向け(2020年)にそれぞれFIDO2パスワードレス個人認証をサービス事業者として世界で初めて導入しました。また、同サービスにおいて認証に関する研究の一環として、FIDO認証、パスワード認証、SMS (Short Messaging Service) 認証のユーザビリティを主観および客観評価で比較し、主観的有用性得点SUS (Subjective Usability Score)が2点高いこと、認証所要時間が13秒短いことを、どちらも統計的に優位な差をもって実証しました。本講演では、ヤフーにおける認証の標準化へ対応する開発や応用研究に関して説明いたします。